たつおか

第23號

発行　竜丘村公民館
編集　情報部
印刷所　龍共印刷株式会社

村の特産として世に出し度い

カルニユー社長語る

光学工業として全世界に販売されておる、カルニユー顕微鏡の製造元カルニユー光学工業株式会社に社長加藤辰雄氏を八月二十日訪問した。

案内された室の南側には会社で出来た顕微鏡が二台きれいに磨いたガラスのウインドの中に並べてあつた。

村報記者（S）は次の様に一問一答をした。

S　本日は御忙しい所済みません村の人達に本紙を通じ会社の様子を伝えたいと思いまして参上致しました。

社長　皆さんお暑い折大変御苦労様です、どうぞ御掛け下さい。

S　早速ですが会社の現況について。

社長　こゝはカルニユー光学工業株式会社の竜丘工場なんです。本社は東京にありますが、生産部門は全部こちらにあります。東京では通産省やその他の対役所関係と顕微鏡部々関係、材料の仕入、外注の連絡、決算の始末などしております。資本金は一五〇万円でありまして、従業員は一八五名、設備機械台数は一〇〇台あります。一五〇〇倍に見える顕微鏡が月に三五〇台製産されます。金額にして七〇〇万円位になるでせう。又種類も三〇〇倍から二〇〇〇倍迄で生物用、鉱物用、金属用とあり、それ等を作つておるのです。

S　どちらえ販売されるのですか

社長　京都の島津製作所を通じて国内はもちろん、国外えも輸出しております。アメリカ、オーストラリヤ、印度、台湾、中共等でありまして、多い月は八割位輸出しております。普通はまあ半々でせうね。七月以后は少くなつたのですがそれは講話条約等の関係がありましてね、九月下旬から十月上旬になれば活発になると思い又将来益々盛んになると思うが。

S　見返り資金を借りたと前の信毎に出ておりましたがどうなんですか。

社長　三〇〇万円借りまして既に半分返しました。その資金で会社の設備を保強し充実しました県下でも早く借りて有効に使いました。

S　会社え務めておる人で村出身者は何人位ですか。

社長　まあ私共も竜丘としまして半分以上ですね。村別に申しますと竜丘が最高で九十五名、松尾十八名、飯田十七名、鼎十一名、龍江九名　伊賀良八名、川路、上郷が各五名づゝ、その外千代、三穂、座光寺、市田が各二名、下久堅、喬木、神稲が一名づつ東京六名で本社え務めておるのです。そのうち今年新制中学校を卒業した方が二十二名、新制高等学校を卒業した方が三名おります

S　会社の歴史は大変古いのでせうね。

社長　日本でも一番古いのですよ会社におる加藤初太郎さんのお父さんが東京で始めまして顕微鏡の審査会に初めて出品されたのが大正十一年ですからそれより前に作成して色々と研究しておつたのです、あの額がその時表彰された額です（一同社長さんの指さす額を見る）そして戦争が烈しくなつた昭和二十年七月に当地に疎開して来たのです

現在日本に顕微鏡を作る大きい会社は六つありまして、私の会社もその中の一つですよ。

S　仕事は流れ作業ですか。

社長　そうです製品として出来る迄二ケ月位かゝります、又ガラスは小田原の富士光学から大きいかたまりのまゝ送つてよこすのを小さくして磨くのです、将来最低賃金制が技能者に布かれて技能者養成をやらなくてはならんのですが。現在会社では県より指定され自主的にやつておるのです、此の教育は学科、実科と併せて四ケ年やり、指導者十四名付いております。

S　会社の地理的と申しますか立地条件はどうですか。

社長　そうですね先づ第一に空気のきれいな所が良いのです。製造過程でレンズにホコリが付いてはこまります。乾燥しておる事も必要です。環境の静かな所ことに緑地帯、遠い所の見える所、工員がレンズを磨いておつて一寸手を休めて遠い所を見る事が眼を休める為に非常に良くこれ等も大事な条件です。

S　住込の方の生活はどうですか

社長　全部買上げです。野菜畑等は全然なく、少しでもあると張合かあるのですがね。希望者はあるのですよ。

S　将来の会社の運営について。

社長　現在とびとびになつておる工場を一ケ所にまとめてやつて行けば指導も出来作業能率も上るのですよ。

村当局議会及委員会では色々と敷地の心配を頂いておるのですがこの事については委員会に頼いて頂く方が良いと思いますが、そうなれば従業員も五〇〇人位にし、機械も二五〇台位にすれば月産八〇〇台出来、金額にすれば一六〇〇万円位になるでせう。そうなれば村の過剰人口も或程度調整出来、村を潤す事も出来て私共も村民として村に尽すことが出来、大いに意義があると思うのです。又部品加工の仕事も内職として常時又は農閑期を利用して出来るのです。そして村と共に発展して行き度いと思つて居ります。

信毎の八月十八日付を御覧になりましたか。

S　見ました会社の広告が出ておりました。

社長　あれは信毎の二五〇〇〇号の記念として出したのですが、竜丘村の特産として世に出し度いと思うのですよ。

S　最后に私達青年について。

社長　そうですね村の将来の農業経営について多角的経営と併せて他の工業も取り入れること、それが必要について行はれるなら唯利用すると言うのでなく盛立てると云う協力的な考えでなければうまくゆかないと思います。従つて、今、それ迄の受入れ準備を検討することが望しい。講話条約成立后の産業発展は当然起きるだろうし、起きねば日本が自立出来ないでせうね。そしてその為に必要なのは各自の心構でせうね。

S　大変忙しい所色々と有難う御座居ました。

カルニユー敷地候補は學校前え

カルニユー光学の敷地の問題について村特別委員会委員長伊原悦男氏は語る。

会社の敷地問題について全体委員会並専門委員会で何度も会議を開催し、尚加藤社長さんにも専門委員会え出席して頂き色々と研究しました。その結果桐林区前野原（学校前）に敷地候補地を決定。土地所有者と色々援渉中であります。尚二十三日村議会がありましてカルニユー敷地問題等について協議致しました所当初の既定方針通り全面的に協力を惜しまない事を決議致しました。

農家二、三男と農村工業

農家二三男（女）と農村工業と云う命題は置いてけぼりをくつたちんばの子が助けをよぶような農業衰史の悲鳴である。ことの原因は生産経済史上でも明かな如く農漁業と云う生産は、商工業より低次であり、而も豪華な資本主義と手をとりあつた近代企業に従属して行かなければならないとゆう資本経済鉄則の支配をうけるとゆう事が一つ、次に今日世界の近代国家とゆう政治圏の在り方か国々その領土内の資源を排他的に古有して人類共与の地球の富を人為的に著しく不平等に仕切つているとゆうことが今一つ。そしてかゝる物資的な歪みを救うべく世界の人類精神の力がまだ強力ではない等に帰することが出来るが、これらのことは学問科学に委せておいて茲では我村のことを考えてみる。

×

竜丘村の農業人口をみるに

人口（A）　　人　農民（D）

土地（B）　　町　農地（E）

$\frac{B}{A}$　　$\frac{E}{D}$

農家中一町三反以上が　　戸

である。勿論農地の開墾増反とゆうこともあるが開放社会の家族思想は分戸生活を必然的に増してくるから農家子女の分蜂見透は難しい。新しい農地法では三反以下の規模の分家を禁止されたが今かりに一戸平均五人で一人一反歩要るとすれば一戸構えるに五反歩が最低線だ。所が本家の方でも急に狭く出来ないから大体八反歩位は残すとして結局一人分家させ得る農家は現耕一町三反以上となる。こうした数字をみる迄もなく、本村から飯田、大島、市田、上郷、鼎松尾、平岡方面えの出稼数は近村に比して明かに多く、而も泊込が多いのは遠い為だけでなくて家の農業手段に見切をつけた故と思われる。かくて本村の農家子女に対して封建的な分蜂小農の道すら絶たれんとする時に当り、何等か別に新しい希望の道を拓くと共に現在の中農の面積を零細化しない事が自治の経営基盤保持の為にも大切な時務となつてくるのである。

×

抑々農村工業とは農産物をそのまゝ売らずに、仲間の組合的な手間で加工商品化して捌く事であり即ち農業経営を商業的に一部合理化する事であるが、広義では資本的工業を農村に移入して農民の過剰労力でまかなう農村人口乃至就職策も含まれる。前者は主として農業生産者の為の打開策であり、協同組合の形によるコスト対抗の方策であるが、農業手段に頼れない二三男女の為にはとりあえず後者の方策を立てなければならない　そしてそれは遠く他府県や都市に出稼ぐよりも自村内で働ける事が村内の商工業発展の為にも又本人や家人の為にも望ましいと共に多くの者が一つの手堅い地方産業にまとまつて特産的な伝統技術が遺されゝば理想である。

×

以上の観点から村では農業合理化策の外に開拓入植や、農村副業策を立てると共に、今次カルニユー光学工業会社の拡充助長が計画されたのである。

即ち目下機構拡充の為にまとまつた敷地を物色中の全会社に対し村として村内に敷地を斡旋して名実共に日本第一流の全会社を更に拡大して貰い、その高度な技術を若き農村子女の手によつて新らしい協同的な形でより多く結びつけ一面農業の適正規模による進展を期すると共に、青少年の健全な育成を図り、村財源の増加を望むものである。これが為には先づ村民がよく全会社の特殊な考え方を理解して行く事が何よりも大切であると共に、学校からは個人として社会人として技術者として立派な素養をもつた青少年を送り出す事が大切である。東洋のロバートオーエン加藤社風にマツチすることが大計の基礎であることを確信し各位の御協力を祈願する次第である。

國民保険のあらまし

一、被保険者

村内の世帯主と世帯に属する者全部である。但し職場に於て加入している健康保険、官設共済組合の被保険者及び十割給付を受けているその家族並に生活保護法で医療保護を受けている者を除く。

二、給付の種類

一、療養の給付

1、診察（往診及び処方箋の交付を含む）

2、薬剤又は治療材料の支給（診療以外の薬品及び売薬の支給を含まない）

3、処置、手術、その他の手当及歯の充填、インレー、補綴

4、入院（食事を含む）

以上であつて、村で定めた療養担当者（郡下及び飯田市の医師、歯科医師、柔道整復師、郡外では国立、県立病院、日赤病院）について受診しなければならない。こゝで注意したい事は、療養担当者を選定するのは被保険者の自由であるが、甲と云う医師の治療期間中に、乙の医師にかゝると云うようなことのないようにねがいたい。

歯の補綴については、厚生大臣の定めた範囲であるが、色々の制限がある。

二、助産の給付

子供が生れた時、五百円支給する。

三、葬祭の給付

死亡した時、三百円支給する。

四、療養費の支給

1、旅行先で病気になつた時とか　2、本村で定めた療養担当者以外の医師にかゝる時は現金を支払つてきて、その領収書を役場へ提出するとその上五割を支給する。2、の場合は予め村長の承認を受けなくてはならない。

三、一部負担金

被保険者が療養担当者に受診した場合、その月より三月目にかゝつた費用の半額を一部負担金として徴収する。

受診した時から二ケ月の余裕があるので、滞納をしないようにねがいたい。

四、保険料

保険料は八月一日より改正して

（1）被保険者均等割月一人十五円

（2）世帯別平等割月一世帯三十円となつだ。

これだけ考えると、不公平のように思われるが、保険料総額の半額は普通の税金（住民税、固定資産税等）に含めて徴収して、残り半額を（1）と（2）のように保険料として徴収するのであるから、税金と保険料を合せた総体的のもので見ると所得の多い者、資産の多い者は保険の分として、最高五百円位負担することになり、最低は三十円である。

五、保健施設

被保険者の健康の保持増進のため次の事業を行つている。

1、結核対策　ツベルクリン検査の結果、陽性者に対して無料で間接撮影をして結核の発見に努め、早期手当を指導している

2、駆虫　小学校、中学校の生徒に対して年三回駆虫薬を無料で服用させている。

3、性病予防　姙婦、成年式該当者、結婚する者等の血液検査を無料でやり性病の撲滅を図つている。

4、健康家庭の表彰　一ケ年間無病家庭であつたものを表彰する

5、姙産婦無料診断　毎月十五日に役場で行つている。

6、乳幼児の健康診断　年二回実施する。

7、母親学級　これから母親となる方々に姙娠、育児、受胎調節について指導している。

以上であらましを申上げましたが私達の国民健康保険を発展助長するため、色々と希望があつたら運営協議会の委員中平要、橋本宏進、北原公祐、今村薫一、下平勲資、林信雄の諸氏か或は役場保険事務室へ申し出られ度い。

村長送迎会開かる

前村長前島頼輔氏を送り新村長林省三氏を迎える村長送迎会は七月二十八日役場に開催され、村民多数出席盛会を極めた。

豆ニユース

盆の野球大会

例年に依り本年も盆を利用し村内より各種一九チーム参加し、夏季野球大会は竜丘学校々庭に於てはなばなしく繰広げられ、炎天下に熱戦に熱戦を重ね、第二日目十六日午后五時半A組勝者カルニユーチーム、B組勝者鈴岡チームに依り優勝戦を展開、延長戦一回戦を重ねるも勝敗はつかず。夕やみせまりし故大会本部は休戦を宣し試合引分けとなる。翌十七日午前十時優勝戦の火蓋はカルニユーチーム先攻に依り切つておとされ、両チームとも苦戦に苦戦を重ね、最終戦（七回戦）に於てカルニユーチーム五点を揚げ優勝した。

優勝戦

鈴岡	1	0	0	0	0	0	0	1	2
カルニユー	1	0	0	0	0	0	0	5	6

盛大であつた盆踊り

今年の盆踊りも青年会を中心に婦人会、小学校の児童を交えて長石寺清長松を中心に踊り、十六日の夜は恒例に依る変装踊りが人気を呼んで入選者左の通り決つた。

一等　阿波の鳴戸　塩沢律子
お弓とおつる　松原英子
二等　五条橋　今村勝光
弁慶と牛若丸　斉藤純子
二等　講話成立　小木曽包房
代田民子　代田富次
三等　万寿姫　斉藤まさ
木下千恵子
三等　かゝし　土屋吉郎

すわ火事？

消防団では　例による不時呼集を行つた。

八月十六日未明静けさを破つて各分団の半鐘は四点連打の召集信号がなつた。すわ火事！各分団ごとに精鋭をほこる消防車を運転して模擬火災現場の学校へ駆けつけた足の早い自動車ポンプに負けじと自転車で力一杯追掛けて行く姿も見られ、打鐘より五分乃至十分位で各分団共主力が到着し、放水迄三分以内と遺憾なく機動性を発揮した。前日来の公民館野球大会と盆休みの為一寸面喰つた形新任正副団長より講評があり、乾いた運動場に太い車の輪だちを残して各分団共詰所へ引揚げた。

開拓地に花嫁を

分村計画で雄々しく開拓に従事して居る若人に、婦人会では積極的な運動に乗り出す事となつた。若い女性の進出を希望して居る。

國旗を立てよう

講和を目前にひかえ、此の機会に是非共国旗の掲揚をするよう運動を起す事となり、平和のしんぼるの日の丸がひるがえるのは間近である。

『鵞流峡』の名勝を尋ねて

天龍廿五里紅葉の中をと歌に名高い天龍川の源、諏訪湖は一名が流と言われ、南原橋から時又橋の辺りまでをが流峡と呼ばれており県立公園天龍峡の一翼として大きな期待をかけられて居る。

概ね平坦部をながれる天龍川も駄科地籍で高さ何十丈の岩につきあたり、その間時又迄一峡谷を形造つている。岩壁につきあたつて飛散るしぶきは歌さながら、春は両岸に山桜美しく、見上げる岩間につゝじが赤く、夏は河鹿鳴く瀬に白百合にほい、瀬も淵もつり師の魅力である。が流峡の美を望めつゝ一周出来る名勝古城址等を御紹介致します

1、開善寺

建武二年松尾城主（鈴岡城の分家）小笠原貞宗建立。大鑑禅師開祖、境内はさながら公園の如く広く美しく、国宝左甚五郎作の山門、古代けん劉様式の鐘楼（建立当時の建築）日本有数の古鐘等あり、特に秋の紅葉は天下の美観である。

2、鈴岡城址

小笠原宗政の城址、春のつゝじ山桜で有名、高台より伊那谷を一眺めに収め甚だ快適。

3、長石寺

正嘉二年法師石海開祖の祈祷寺本尊観音像は養元六年行基菩薩彫刻（第一は当寺第二は遠州戸倉第三は秋葉山）旧二月の初午祭は近郷近在は勿論遠く他国よりの参詣で終日賑はい、伊那の浅草寺といわれている。

4、南原橋

東洋一の高架吊橋として天下に名高く、はるか下の清流を眼下にしてスクル万点

5、文永寺

天皇の勅使御差遣の際の勅使門と古代力学応用の石井戸枠は国宝として有名、吊鐘はが流峡を通じ龍宮より贈られたと伝えられ、その他種々の伝説をもつた重要古鐘として有名。

6、いたちが沢滝

が流峡よりいたちが沢に添つて山路をたどることしばし、山中に白布をたれて三丈の滝あり、映画「緑の小箱」に撮影され全国的に知られている。

7、天龍橋

昭和十年秋の架がえ本郡に二つのモダン橋、橋上から川上が流峡を眺めて趣き深く、川下は遠く河原をへだてゝ中央アルプスの雪嶺を望み、夏の夕方川風に涼をもとめて橋上はにぎやかである。

8、時又港

古くから遠州路の交通の中心地として有名、鉄道の便の開けた現在でも天龍峡探勝の客は皆こゝより舟に乗る。大正二年秋英国ニンノート殿下もこの港より舟に乗つて天龍川を船下りされた。

天堤より新入植地 上野を訪ねて

竜丘村を送出母村として大分県直入郡長湯町の新入植地上野地区は既に中平、前沢両氏によつて実地視察を終へ、入植者も出発期日も決定中の処、急に県よりの連絡もあつて私と今回入植代表者川坂氏と準備其の他の連絡の為九日朝現地に向つて出発する事になり、それ前に天堤を訪問して入植者を慰問し、且今后の上野地区入植につき武村団長外各位の協力を願ふべき予定を以つて出発した。

杵築駅へ下車したのは翌日の午前十一時、連絡してあつたので武村氏が下山して温顔を以つて迎えて下さつた。天提は既に多くの諸氏も訪問せられ、且入植者の諸君も折々の帰郷により報告され現地の大略は承知してはゐたものの初訪問者としての私共は一見一掴は実に驚異の一字につきるものであつた。

第一次入植より一年に満たないのに既に開懇せられた反別に十余丁歩現在陸稲四丁余。落果生七反歩、甘藷一丁五反、里芋四反歩、其の他野菜収穫後の土地はそれぞれ後作の準備せられてあり、この日照続きにあの山頂で里いもが立派に成長してゐたのが不思議に感ぜられる程でした。地影は起伏のある、率直に申してよい処ではないが。昨年入植者播き付けた小麦の収穫が八十俵、亦今年子供の頭程ある馬鈴薯が約三千五百〆収穫し畜舎の家根裏にごろ〳〵と蓄積せられてあつたのには一寸驚かざるを得なかつた。

住宅も既に十三戸建てられ九月中には三十戸完了の手配を終り現在分散にて着々整備せられてゐた。畜牛も既に十九頭を飼育し九月中には各戸一頭宛計三〇頭の導入も決定し、各自の責任も定まつて見事な体勢も出来てあり、武村氏の話しでは今后のあり方を来年度より五七戸程度の小組合共同組織に組替えて共同耕作を続けて行かれる由、大分県否九州地方の開拓のモデル組合として其の信州農政のあり方を注目し、大きな期待と其の成功を称へられつゝ、ある事は一に指導者のよき人を得た事亦団員諸君の一致団結と開拓魂の旺盛なる事は申す迄もなき事乍ら現地に二日間御世話になつて朝田村、北杵築村等、幾多地元の方々と面接し、亦親しく話し合い団員諸君と行を共にしつゝ、私の胸を強く打つたものは武村氏の人格と其の指導並に農政に対する其の非凡なる手腕の余りにも顕著なるを痛感した次第でした。朝田村、両安岐村その他北杵築村の地元の皆さんの心からなる団長に対する敬愛、団に対する協力、殊に八月二日の両安岐村婦人会の大挙しての慰問には其の物資の多い事と誠意ある心情には団長始め一同感涙にむせぶ程であつた由。

今日のこの状態に迄になし下さつた武村氏に対し其の御努力御辛労に只々感謝の外申上げる言葉もない深い感激を覚えた事でした。

この酷暑に一〆目近いトンガを振上げ直射をあびて汗と黒埃りの中に黙々と力強い一鍬〳〵を大地に打込むあの弛まざる開拓魂に対し私は心で合掌し目頭の熱くなるのを如何ともする事が出来なかつた。

あの山の中で団員四十七名が一つの争もなく、一致協力一つ家族になつて共同生活をしつゝ、一生否永遠な基礎をこの二、三ケ年に確立せんと不自由を忍び、亦この世を離脱して原始的生活に耐へ営々と邁進する其の貴重なる努力は今回大分放送局が現地録音して天堤の実況をローカル放送する迄になつた事について宜なる哉と絶叫せずにはゐられない。

流汗ぬぐい土耕せは黒土の
　新たなる薗林はほゝへむ　（富江）

殺風景な開拓地、未だ荒かべ荒莚の室の中の机の上に団長の御嬢さんが自製の竹筒に彫り刻まれてあつた一句。おと女心のゆかしさなでしこの花の一折が山の清気を一ぱいに吸つて活けてあつたのも殊に私の心を強く打つた事でした

団の統制、団長に対して絶対の信頼と尊敬、団員相互の親愛協力ほんとに羨ましく微笑む数々を面のあたり視る事が出来、天堤開拓も愈々其の成功の緒についた事を見聞し、団員各位の健康と其の成功の一日も早からん事を祈念し、希望にくれて歓喜に明ける天堤の皆様に別れをおしみつゝ下山したのが十二日でした。

長湯の町は杵築から汽車で二時間、自動車で二時間の距離であつて大分県庁広田氏、そして地元からの案内せられて一通り視察する事が出来た。

地形は天堤より数段の好条件に恵れた家でした。約八十歩実に見事な地形にて人家より（上野地区）六、七丁先にこんな未開発地のある事が実に奇異に感ぜられた。

私共一行の視察に対して地元町長さん始め関係者が心から迎えて下さつて嬉しかつた。

其の夜は甲斐町長さん始め一同と現在の事情亦今后の事について一時過語迄り合つた。

甲斐氏は長野県農法の在り方について大きな希望と期待を持つておられ、入植者の意気と熱意がそして農魂が長湯町農民に対し一大覚醒を与えて発ぶんさせてくれる様今日の長湯町が殊更信州人の入植を後援するのも一に前述の一事に尽きると述べ、其の点を繰り返し申された。そして入植者代表の山坂氏に

一、一致協力　二、絶対的統制

三、農業に対する創意工夫

四、積極的革新的な農法

五、大分県民との血合

を強調せられた。実に難有い言葉で深く感銘した事でした。

山坂氏にもくれ〳〵も其の○を再認識して実行に移して貰ふ様私からも強く要望しておいた。

入植事業殊に特種事情の単作開拓の至難である事は今更贅言を要しないが其の成不成早遅は一に指導者の如何である事も衆智の事実で其の好標本は天堤がはつきりと教えて下さつた。

みかすむ程の一望の開拓地この原野が如何にして開拓せられ行くか、私は甲斐氏のあの一言とそして実地について視察して天堤と対比し今回の入植者諸君が自我を棄て、真に信州魂をあの大分の天地に強く深く打ち込んで、長野県民が現在大分県民より多大なる期待と信頼を持たれつゝ、ある現状に鑑み各位が誠意と、熱意と、努力をそして責任をもたれて立派なる実績を掲げられて第三次四次と送出出来得る礎石を樹立せられん事を祈つて止まないものである。

尚村民各位もこの雄々しき開拓者の為に何卒今后共御声援下されて其の成功に何分一段の御協力を御願い致してこの報告を終りといたします。（村長）

就学前児童の躾について（一）

去る七月十八日PTA主催、公民館後援により東京家政大学々長青木誠四郎先生の「家庭に於ける子供の教育」と題して講演会を開き多数のPTA会員が聴講した。

先生の話の概要は印刷して希望の方に配布になるが、その話の精神にそつて小学校々長新井芳実先生に具体的な児童のしつけについてお話をお聞きしてみた。

一、幼児期のしつけの如何はその子供の一生を左右する。

青木先生のお話にもあつたがアメリカのルーズ、ベデネイクトと云う人の日本文化の型について書かれた「菊と刀」と云う書物の中に「日本の家庭では子供の小さいうちは、まだ小さいからとて随分甘やかしている。子供が長ずるに従つて安心出来なくなり、又子供も大きくなつたと云う事より厳格なしつけを要求する様になる。こゝがアメリカの場合は全くこれと逆で、子供が小さい間に随分厳格なしつけをし、長じて物心がつく様になつてからはできるだけ子供の自由に任せる」と云う意味の事を述べている所がある。これはアメリカの家庭に於ける子供の育て方と、日本に於ける従来のしつけ方との相異を端的にとらまえたものとして興味深い事であり、また我々に深い反省を投げかけているものと思う。

お誕生から小学校へ入学する迄の子供を普通幼児と云つておりますが、この数年間の幼児期が人間一生のうちで精神発達の一番速い変化の目立つ時期であると云われている。このことはまた違つた言い方をすれば、人間一生の基本的な性格や習慣はほゞこの時期に形成されると云う事になりましよう。こう云う点を考えただけで幼児期に於ける家庭のしつけの如何はその子供の一生を左右する重大な鍵となつていると云う事が充分わかつていたゞけると思います。

稲の栽培をする場合でも苗木に於ける苗の管理の良否が収穫を左右する事は良く御承知の事です。子供をしつけける場合にもやはりしつける時期があります。正しいしつけはこの時期を適格にとらえ、正しい方法で行つて始めてその目的が達せられると思います。子供に可愛想だからと云つて幼い時はまあまあと見逃す事も良い子にしたいからと云つて年令不相応な事を要求する事も決して正しいしつけ方とは云えないわけです。

村内こぼれ話

☆

海へ！山へ！いざ旅へ！と駅々に貼り出されたポスターのイロドりはいづれも美しいが、時間と経済の余裕のない農村生活ではなか〳〵旅に出る事は難い。

或る青年連乏しい予算で霧ケ峯又は富士見台等へ登つたがどうだつたと問うと、至る処アベツクのみで当てられたと言う。旅して見てつく〴〵知つたと云う若人の現世相に前世紀の親達は何と答えたら良いのであらうか？

☆

豚価七十掛余と相場は割合続くので至る処の農家、正に、トン様々である。肥える事が運命の最后とは知らないトン公は糠やおからでぐん〳〵農家経済の金欠補給の第一任務について呉れる可愛良い動物である。

その旺盛になつた飼育の割に種豚が少い為是非優秀な種豚を二匹村位へおいて欲しいと言う声が高い。出来れば至急に……農業委員会や他関係者の手配を希望すると言うのだ。

☆

或る家でお茶をのんで居ると傍へ猫が来た。客人は猫の頭をなで乍ら猫は登録税一二〇〇円が不要だからおいいなあと言つた。その人は二匹の犬を飼つていて内一匹登録、他の一匹が未登録の為先日犬殺しか保健所の命令だとおつかない顔をして村内を廻つた時ビク〳〵して居たと語つた。未登録で殺された八匹とかの犬は其所で解体せられたが、さてその肉の行方はいづこえと気にやむ人が居た。

☆

固定資産再評価のうちでも面倒なのは家屋の評価と査定だ。

約一ケ月の予定で実施された本村の調査方法を参考に研究したいと地方事務所の案内で西筑摩郡読書村外数ケ村の村長、書記連が視察に来村したが、時又某家の査定状況を実施に見て調査補助員が専問的に、査定を進めるのに驚ろいて居た。

そのあとどこかの農家で良い建築物を見度いとの希望によつて案内したのが桐林の某家、家の前に立ち庭の方から眺めて、ウームと感嘆しさて感想はと問うと「木曽谷の農家と伊那谷とでは大分文化の程度が異いますわい」

☆

時又の灯篭流しはいつの間にかこの峡谷の年中行事の一つとして峡谷民に期待される様な催し行事になつた。

商工会や、関係者の骨折は御苦労様乍ら何万人（？）の人出を迎えて、雑踏の中でゆるく流れる灯籠の灯を送り乍ら、時又側の川際をもつと広い散歩道路にして、ゆつくり歩いたり、見れたりすると良いがねと幾人かで語つて居た。狭い河原道を押し合い〳〵するのは昔の話となるよう護岸を高めその際港の観光道路を築いたら良いだらうがとの声である。

秋蚕便り

本村稚蚕飼育所では秋蚕の掃立と分配を次の如く行ふ。

	掃立月日	掃立瓦数
本秋蚕	八月二七日	八五〇〇瓦
晩秋蚕	九月　五日	二〇〇〇瓦

	品種名	分配予定
本秋蚕	（倉冬×春晴）	九月　二日
晩〃	〃（白光×信和）	九月十二日

注意＝本年は稲熱病発生の為消毒した附近の桑園又果樹園附近の桑園には特に採桑上注意の事

働き乍ら學ぶ青年の 教育をどうするか？

＝研究会開催＝

八月二十五日竜丘中学校に開催出席者は下伊那郡下青年教育実施中の二十数ケ村公民館長、主事又は中学校長、郡教育会、社会教育委員、定時制高等学校教官等各関係の立場の人が集合した。開会の辞は公民館下伊那郡運営協議会松沢副会長、司会者として竜丘村公民館長を指名。次の研究協議が進められた。

一、各村に於ける勤労青年教育の必要性と現況

二、運営について
テキストの選定、授業時間数、課目の決定等

三、各村青年教育の特色と重点

四、生徒会の組織と事業

五、その他各村の提案事項

右のうち各村の現況報告は大体三種類の事情別に報告されたが

A、定時制高校分校のある村

B、青年学園の実施中の村

C、青年学園はないが講座を開いて居る村

その中でも郡下一の予算を持ち専任教官を設けて全村一致で充実した内容の山吹村の報告が注目された。尚Cの例として、清内路村の下平先生が青年の勤労奉仕に依つて一万円の経費で開かれた実例は貧しい山村の青年の教育問題として出席者に感銘を与えた。

結論として　一、各村は関係のブロツク村の青年教育、研究会を持つ事　二、郡は年二回郡全体の研究会を開催する事　三、郡を通じ県並に国に対し、勤労青年社会教育の強化速進を運動する事が決定された。

本年麦買入価格決定

普通大麦（一俵五二、五瓩）

等級	一俵当価格（新俵）
1、	一、五四四円
2、	一、五二一〃
3、	一、四七四〃
4、	一、三九三〃

普通裸麦（一俵六〇瓩新俵）

1、	一、九八三円
2、	一、九四三〃
3、	一、八九三〃
4、	一、八二八〃

普通小麦（一俵六〇瓩新俵）

1、	一、八一四円
2、	一、七八九〃
3、	一、七五九〃
4、	一、七〇四〃

強力小麦（一俵六〇瓩新俵）

1、	一、八九四円
2、	一、八六九〃
3、	一、八三九〃
4、	一、七八四〃

ビール麦（一俵五二、五瓩）

1、	一、八二四円
2、	一、八〇一〃
3、	一、七五四〃
4、	一、六七三〃

備考

右価格は包装代を含む　新俵四五円　古俵三三円

本村供出状況は八月二十五日現在（割当総格五一五石）の八九、二%　八月末には完遂予定

政府買入は今后無制限に受入れます。

昭和二十五年度産米 及麦類追加払価格決定

昨年産米（雑穀）麦類の追加払価格が決定八月末に支払われる。

米穀（代替供出の雑穀）

玄米一石当り
普通供出　六百二拾七円
超過供出　七百八拾四円

籾精米及雑穀は玄米に換算

麦類（代替供出の雑穀）

普通供出　一俵当
大麦　二一一円
裸小麦　一四七〃
粟稗　一三五〃

超過供出
大麦　二三九円
裸小麦　一八四円

主食消費者価格値上

八月一日より次の様に主食消費者価格が値上げした。

精米	一〇瓩	六二〇円
小麦粉	〃	四八五円
押麦（内麦）		四八五円
〃（外麦）		四六〇円
乾めん		二三円
ひや麦		二三円五〇
食パン		九円五〇

手をつけない様に 『三角點標』

今回国土調査の為国から技術者が派遣せられて村内の主要地点え三角点標を建てますが重要な物ですから手をつけないように保護して下さい。

（村国土調査事務局）

出穂期の稲作管理

竜丘地区農業改良事務所

一、灌排水

イ、花水

昔から花水と称して出穂開花期に於ける要水の重要性を説いて居る。稲の葉面蒸散作用は田植当時より生長の進むにつれて次第にその量を増し、出穂開花期に最も旺盛となる。また開花授粉の場合について見ても子房の内側のつけねにある鱗皮が水を吸つて膨脹し外穎を押すので開花する。それと同時に今迄結んでいた花糸が次第に伸びてくる。やがて○が破れて花粉は雌しんの柱頭に散り落ちてつく。此の場合空気が八〇%程度の湿気を保つている事が授精には最も好都合となつて居る。さてこれ等の事柄からして稲の蒸散作用が盛に行はれゝば根から多量の水分を吸収しなくてはならない事がわかる。従つて水と同時に吸収されるけい酸分も多く吸収される結果、表皮の機動細胞に沢山のけい酸が集積してこれが稲熱病の低抗性を増す事になる。

開花には稲に充分水分が吸収されねばならないし、授精には八〇%程度の湿度が必要なところから考えれば出穂期に充分灌水する事は稲の吸水を容易にするだけでなく畦間の湿気を高めて稔実を良好にする上にも有効となる。従つて出穂期に於て常に灌水を充分することが必要となる。

ロ、落水

落水は傾穂期と称し普通の土地で出穂後三〇日前後に於て落水する。乾燥田で落水を急ぐと稔実が劣るのみでなく、穂首稲熱病の発生もあるから注意する。但し山田で冷水の掛る湿田などは早目に行い、土中の温度を高め畦間の気温の低下を防ぐ事が必要だ。

二、頸節稲熱病予防

稲熱病予防については八月中旬より二台の動力ふん霧機と二台のハンプウを動員して一斉消毒を開始、八月末日迄に一応約一〇〇町歩を終了する予定であるが、特に穂稲熱病を発生したところは重ねて穂揃期に予防をする必要がある

イ、薬剤と撒布時期

薬剤　八斗式過石灰ボルドウー液　反当八斗ー一石
撒布回数　二回
撒布時期　穂揃期（八割位出穂した時）

ロ、薬剤調整

撒布時期が開花期の場合には薬害を起し易いから特に正確に薬品を調整する。

開花期のボルドウー液撒布は薬害により籾を黒変する場合があるが稔実には支障ない。

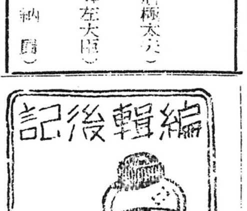
新版百人一首

世の中よ道こそなけれ思い見る
　さいふの中の金もなくなる　（後退居極太夫）

ぬす人のにげつる後をながむれば
　たゞありあけの月ぞのぼれる　（租納大寺左大臣）

納めずにすまぬものとはしりながら
　なほうらめしき所得税かな　（滞納男）

編輯後記



暑い日が続くと、こゝらで一雨ほしいなあと言う事を何度か聞く。夕立も竜丘の方へ向つて降つて来る様だが降つてこない。馬の背を別けると言うが大粒の雨が来てほこりしづめの程度で終つてしまう事が何度かあつた。

× ×

盆も賑かだつた燈籠流しも無事に終ると朝々めつきり涼しくなる心配された二百十日もことなく過ぎて、軒下え掛けた風鈴も何んとなく物さびしい感じがして夕方のしとしきりはこほろぎの声で一層初秋の感じを深める。

× ×

村報も農業者、営業者、給料生活者、一家の主人、主婦、若い人年寄りの人と村中の人がみんなで読んで頂く様に色々な角度から研究を重ねております。

× ×

二十三号が皆様の手許にとゞく頃には農家も農協より分配された蚕の飼育で大童な事でしよう。

× ×

黄金の波打つ稲穂の豊作を祈るのは農民ならず村人全部が祈る所であります。